

2022. 6. 20

報道関係者 各位

< 配信枚数2枚 >

【立命館土曜講座のご案内】

7月テーマ「アートとオンライン展示」

開催日時：2022年7月9日(土)・16日(土) 10:00～11:30

開催方法：オンライン(Zoom ウェビナー)

7月の立命館土曜講座は、立命館大学アート・リサーチセンターの企画として、「アートとオンライン展示」をテーマに、オンライン(Zoom ウェビナー)で開講いたします。

どなたでも無料で受講いただけますので、ご関心のある方のご参加をお待ちしております。

記

■立命館土曜講座 7月テーマ「アートとオンライン展示」

(1)第3362回「アジアと日本を展示する」

日時：2022年7月9日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学文学部 教授 赤間 亮

立命館大学文学部 教授 西林 孝浩

(2)第3363回「デジタルゲーム展の可能性と課題～ゲーム音楽のオンライン展『Ludo-Musica』から」

日時：2022年7月16日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学映像学部 教授 細井 浩一

大阪国際工科専門職大学工科学部 准教授 尾鼻 崇

開催方法：オンライン(Zoom ウェビナー)

内 容：別紙参照

聴 講 料：無料

定 員：400人 ※実施2日前17:00までに要事前申込。定員に達し次第、受付を終了。

申込方法：立命館土曜講座のWEBサイトよりお申し込みください。

<http://www.ritsumeikan.ac.jp/acd/re/k-rsc/kikou/doyokozakikoh.htm>

主 催：立命館大学衣笠総合研究機構

そ の 他：文字通訳を配信しています。

以上

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ

●内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠総合研究機構 担当：武田・瀬古

TEL.075-465-8224

別紙

■立命館土曜講座 7月テーマ「アートとオンライン展示」

(1) 第 3362 回 「アジアと日本を展示する」

日時：2022年7月9日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学文学部 教授 赤間 亮、立命館大学文学部 教授 西林 孝浩

講師による内容紹介：

＜赤間 亮＞「文化財」とか「美術品」などと呼ばれて、高価な図録か、限られた期間だけの展覧会でしか鑑賞できなかったものが、インターネットを通じて、いつでも見られるようになってきました。デジタル化された「文化財」や「美術品」を、“文化資源”と呼び替えて、その可能性をさまざまな視点から引き出して活用しようという「文化資源のデータ駆動」が、美術館や博物館の重要な戦略になってきています。本講座では、インターネット上で、どのような文化資源が配信されており、それがどのように「データ駆動」されているのか、いくつかの事例を示しながら、「デジタル展示」の可能性に触れます。なお、本学アート・リサーチセンターでは、数多くのデジタル展示を公開していますが、昨年度末にリリースした「めぐりあいアジア」について、プロジェクト代表者の西林孝浩教授に紹介していただきます。

＜西林 孝浩＞近年、学内の研究プロジェクトにおいて作成したアジア芸術に関わるオンライン展覧会について、その制作経緯や内容をご紹介しつつ、アジア・日本美術の展示とそのあり方、オンライン展示の可能性について考えてみたいと思います。

(2) 第 3363 回 「デジタルゲーム展の可能性と課題～ゲーム音楽のオンライン展『Ludo-Musica』から」

日時：2022年7月16日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学映像学部 教授 細井 浩一

大阪国際工科専門職大学工科学部 准教授 尾鼻 崇

講師による内容紹介：

＜尾鼻 崇＞2021年12月、上村雅之先生がご逝去されました。上村先生は任天堂株式会社でファミコン、スーパーファミコン等の開発責任者を歴任された後に、立命館大学で教鞭をとっておられました。そして、上村先生は立命館大学のゲームアーカイブを細井浩一先生と共に黎明期から支えてこられた方でもあります。私たちは、上村先生への恩返しとしてゲームアーカイブ、そして日本のゲーム研究のさらなる発展に尽力していかなければなりません。本講座では、文化庁事業の一環として実施した「Ludo-Musica」というオンライン展示を取り上げます。2021年に開催された東京オリンピックの開会式でさまざまなゲーム楽曲が用いられたことは大きな話題となりましたが、そのような「日本が誇る文化の一つ」であるゲーム音楽を紹介する展示となります。「Ludo-Musica」のテーマは、ゲーム音楽という資料をオンライン上で展示すること、そしてゲームアーカイブ利活用としての展示であることの二点です。保存と活用は表裏一体です。持続可能なアーカイブ構築のためには、その活用方法についてもあわせて検討する必要があります。「Ludo-Musica」の実施を通じて得た知見や課題、そして可能性についても考えていきたいと思います。

■立命館土曜講座

1946年から続く、市民向けの無料公開講座。故・末川博名誉総長の「学問や科学は国民大衆の利益や人権を守るためにある。学問を通して人間をつくるのが大学であり、大衆とともに歩く、大衆とともに考える、大衆とともに学ぶことが重要」との思いのもとに、大学の講義を市民に広く開放し、大学と地域社会との結びつきを強めることを目指しています。

＜WEB サイト＞ <http://www.ritsumei.ac.jp/acd/re/k-rsc/kikou/doyokozakikoh.htm>